

景観形成重点地域

● 河川景観保全地域

基本方針

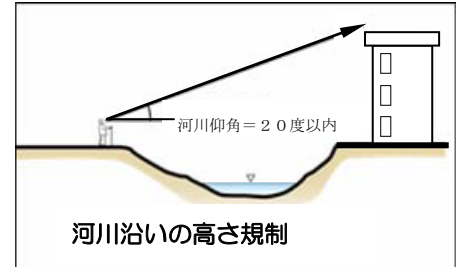
- ・川沿いに建つ建築物等により河川に圧迫感を与えないよう、形態意匠、高さなどの誘導を行います。
- ・川通しの山並み眺望を確保します。
- ・橋のたもとは、親しみのある空間や視点場として整備するよう誘導します。

良好な景観形成のための基準（*主な事項を抜粋）

形態意匠	高さ
河川や河川沿いの道路に面する建築物等は、河川に対して正面性を意識した形態及び意匠とし、河川景観と一体感のある景観形成に配慮すること。	河川景観への圧迫感を低減するため、河川沿いの建築物等の高さを河川対岸より仰ぎ見た角度（仰角）20度以下になるよう、一定の高さ以下とすること。



市内の中心部を流れる北上川



● 歴史景観地域

基本方針

- ・盛岡城跡公園は歴史性を尊重した、景観形成に努めます。
- ・北山、河南地域の寺院群は、歴史的雰囲気大切に形態意匠、建築物の配置や高さを景観誘導します。
- ・大慈寺町・鉾屋町周辺は、関連する事業や計画との調整を図りながら、歴史的佇まいと調和した景観の誘導を図ります。

良好な景観形成のための基準（*主な事項を抜粋）

位置	形態意匠	高さ	屋外広告物
盛岡城跡公園とその周辺ゾーンでは、敷地前面にオープンスペースを確保することにより、お城が眺められるゆとりを創出するとともに、連担する建築物の壁面の位置の統一に配慮すること。	河南ゾーンでは、建築物の形態及び意匠については、極力、和風の勾配二段屋根とするよう配慮すること。	北山ゾーンでは、寺院群の屋根並みの調和に配慮し、建築物等の高さは、隣接又は当該地域の寺院群の高さを超えないこと。	北山ゾーン及び河南ゾーンでは、屋外広告物について、極力、自己の用に供する広告物のみとし、位置、規模、形態、意匠、色彩及び素材については、歴史的景観との調和に配慮したものとすること。



町家の再生を手がかりにまちづくりが進む河南地

● 街路景観地域

基本方針

- ・歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な公共空間の創出に配慮するよう景観誘導を行います。
- ・幹線街路沿いの敷地には、植栽等による緑化や屋外広告物等が適切に配置されるよう誘導します。
- ・旧街道などの街路は、歴史性を大切に景観誘導を行います。

良好な景観形成のための基準（*主な事項を抜粋）

緑化	形態意匠	高さ	屋外広告物
広域の幹線及び市街地の幹線街路の沿道型の商業施設等においては、道路から壁面を後退させ、中高木緑化を行うよう配慮すること。	広域の幹線及び市街地の幹線街路では、道路の角地に位置する敷地に建築物を建築する場合、出来る限り建築物の配置や壁面を角地から後退させるか、建築物の壁面に入り隅を設ける等、角地のゆとりに配慮すること。	広域の幹線及び市街地の幹線街路では、山並みの見通し景（ヴィスタ）が確保されるよう、建築物、工作物及び屋上工作物等の位置、規模、形態等について配慮すること。	歴史的な街路では、屋外広告物について、極力、自己の用に供する広告物のみとし、位置、規模、形態、意匠、色彩及び素材については、歴史的景観との調和に配慮したものとすること。



日常的に接する市街地の街路